

住まいの飾り職人“アトムリビンテック株式会社”の広報誌「アトムニュース」

ATOM NEWS

2022 WINTER

216





KANAGU

kanagu-store.com

つかってみると
なんだかうれしい
ここちいい



鉄瓶屋が作るスキレット 16cm ¥8,800 [税込]

TITANESS Tumbler Multiple (M) ¥31,900 [税込]

TSUTSU Tumbler Silver Gray 360ml ¥7,150 [税込]

栓抜き『日食』¥2,497 [税込]

「tone」bucket-ice_pail ¥22,000 [税込]

鉗起すずがみ 24×24 ¥17,600 [税込]

鉗起すずがみ 13×13 ¥4,950 [税込]

すずがみ 13×13 ¥3,300 [税込]

KAGO-スクエア (L) ¥14,300 [税込]

- 3 古今東西たてものがたり 神奈川県横浜市 三溪園 臨春閣
- 7 知っておきたい 物と素材のチカラ ダンボール
- 9 石の神さま仏さま 果報は寝て待て
- 10 切手で巡る世界の旅 切手でつなぐ子どもたちのチカラ
- 11 フォトエッセイ 人人の風景 vol.8
- 15 ATOM's EYE 第54回全国建具展示会レポート
- 17 CSタワー通信 正統派オトナ文具シリーズ 経年変化を楽しむ
- 18 オフタイムの過ごし方

*新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る観点から、一部取材を自粛したため、
今号の「アテナの道具箱」を休載させていただきました。

今号の表紙

ロンドンドライブ



街並みを写真と車のイラストでコラージュした作品です。イギリスのアイコンでもある2階建てバスを背景にMINIが街並みをドライブ。MINIの中でも最も初期型であるMK-1モデルをモチーフに、現代にもマッチするアンティークのオシャレさを感じていただけたら嬉しいです。様々なスカーフのデザインを展開しておりますが、コラージュ作品はパリの街のドライブ柄が初めてで、こちらのロンドンドライブは第2弾となります。スカーフとして身に着けた時には、赤がアクセントになるように極力周りの色は配色を抑え、男性的なインテリア空間にもマッチするように、ユニセックスに仕上げました。



堀田 真澄 [Masumi Hotta]

「ファッション&アート」のコンセプトを軸に、生活に身近に溶け込む雑貨などにもデザインを落とし込み、自身のブランド『クリスタルアート』独自の世界観を表現しています。ギャラリーショップ KANAGUにも作品を展開していただいています。日ごろから、動物や植物のモチーフをデザインに多く取り込んでいます。

読者プレゼント
Present

● 真鍮鑄造のフクロウの置物

イヌイフュージョン株式会社所属・西田和人さん制作、真鍮鑄造のフクロウの置物です。ちょこんとしたフォルムが素朴でかわいらしいながら、どこか品が漂う佇まい。机や棚の上、インテリアの一角など、どんな場所にもなじみます。目が合うたびに、ほっこり優しい気持ちになりそうです。本来は黄色く光沢のある真鍮を、イブシ染めという技法で黒化させて作られたこのフクロウ。さらに1週間ほど折に触れて手でこすることで、その風合いにメリハリを出したそうです。真鍮は、経年変化で深みのある色と質感へと変化していきます。たまに手でなでたり布でふいたりしてあげると、あなただけに向けられたオリジナルな表情を見せてくれることでしょう。

【サイズ】 巣立ち・初日 H70×W60×D55mm 親ばなれしたよ。H75×W55×D45mm
【材質】 フクロウ：真鍮鑄造 倒木：鉄・着色

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で2名様にプレゼントいたします。

締め切り 2023年2月28日(火)

● 当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

ギャラリーショップ KANAGU

職人・金属・手しごとをキーワードに、
こだわりのアイテムを取り揃えています。
どうぞお気軽にお立ち寄りください。



三溪園は、明治末から大正時代にかけて製糸・生糸貿易で財を成した横浜の実業家・原三溪が、東京湾を望む谷あいの地に造りあげた広大な日本庭園。明治三十九（一九〇六）年に公開された園内に、京都や鎌倉などから移築された歴史的な建造物が巧みに配置されている。

今年、五年におよぶ保存・修理工事を終えた「臨春閣」と、それを含む十棟が国の重要文化財、三棟が横浜市指定有形文化財である。平成十九（二〇〇七）年に国の名勝に指定された。

「東の桂離宮」の優美さ

三溪園は、約十七万五千平方メートル。東京ドーム約四個分の広さだ。この広大な日本庭園に、創設者・原三溪の歴史的建造物への想いがつまっている。

そのひとつ「臨春閣」は、江戸時代初めの慶安二（一六四九）年、現在の和歌山県岩出市の紀ノ川沿いに建てられた。もともとは紀州徳川家の別荘「巖出御殿」といわれる。その後、建物は大阪市此花区に移され、「八州軒」と呼ばれた。荒れるにまかせていたものを原が購入し、大

正六（一九一七）年に三溪園への移築が完了。鯉が泳ぐ池に沿い、三棟を奥に向かって雁行させ連結した。

移築の際には屋根の形や素材、三棟の建物の配置が変更されたが、室内は数寄屋の意匠を採りいれた書院造の旧態が遺されている。

その優美な景観が、三溪園を代表するものとして「東の桂離宮」と称されるゆえんである。

重要文化財の古建築

三溪園は、外苑と内苑に分かれる。外苑のランドマークは京都・燈明寺から移された室町時代の建築「旧燈明寺三重塔」だ。園内のどこからでも、その姿を眺めることができる。

このほか飛騨・白川郷にあった合掌造の「旧矢筈原家住宅」や、縁切寺の名で知られる鎌倉・東慶寺の仏堂「旧東慶寺仏殿」をはじめ、原自身の住まいとして建てた「鶴翔閣」などが配されている。

一方、内苑は原が私庭として使用していたエリアだ。

「臨春閣」を中心に、京都・二条城内にあったと伝わる徳川家光・春日局ゆかり

の楼閣建築「聴秋閣」や、豊臣秀吉が京都大徳寺に母の長寿を祈願して建てた「旧天瑞寺寿塔覆堂」、織田信長の弟・有楽の作という茶室「春草廬」など、古建築と庭園が一体となった空間が広がる。

じつは原は当初、「臨春閣」を豊臣秀吉が建てた聚楽第の遺構と考えていた。かつては「桃山御殿」と呼び、屋根を瓦葺から檜皮葺・柿葺に替え、玄関を増築、三重塔の眺望を意識した棟の配置など、創意と工夫をこらして移築に臨んだ。

完成後は、数寄屋風書院造の室内を秀吉ゆかりの美術工芸品で装飾し、暮らしを楽しんだという。

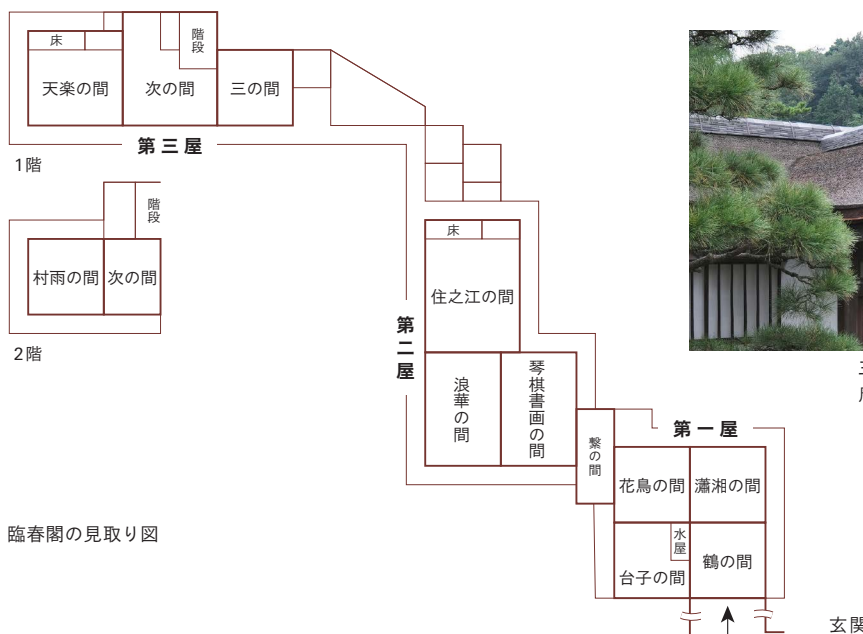
障壁画や欄間の美の競演

「臨春閣」の建物内部は、通常は非公開である。だが今回は特別に取材と撮影の許可が下りた。第一屋から第三屋まで、順に見学路をたどっていこう。

第一屋の見どころは、玄関を入ってすぐ「鶴の間」にある障壁画「鶴図」だ。狩野周信の筆と伝えられ、松竹梅の林に鶴が遊ぶ景色が描かれている（現在、障壁画はコロタイプによる複製。オリジナルは三溪記念館で保存・展示）。



三溪園・臨春閣の玄関棟。修復工事を終えて、唐破風屋根の檜皮が新しく葺き替えられた



臨春閣の見取り図



三溪園を代表する
古建築の美を誇る
臨春閣

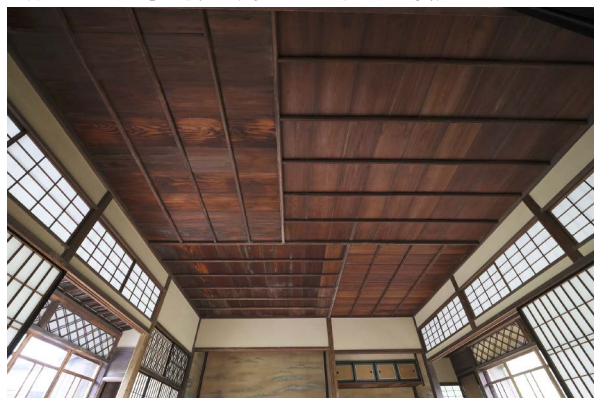


第一屋「瀟湘の間」から「花鳥の間」を望む。欄間に透かし彫りされた波模様、かつては銀箔が貼られ、波の青や松の緑などの色彩が施されていた



また「瀟湘の間」と「花鳥の間」の間の欄間には、ダイナミックな波模様の透かし彫りが施され、視線を釘付けにする。つづく第二屋の「琴棋書画の間」の障壁画は狩野探幽作といわれ、文人の嗜みである音楽・囲碁・書画が画題である。隣の「浪華の間」で目を引くのは欄間に飾られた色紙の数々。そこには浪華の景勝地をたたえる和歌が詠まれている。その奥の部屋は框が一段高く、賓客の座所でもある「住之江の間」だ。特筆すべきは、書院の立涌文欄間障子のデザインや、地袋に中国の風景が描かれた黒漆

天井の「卍くずし」の意匠は、永遠や不滅、恩恵の象徴といわれる



黒柿の框で1段高くなっている「住之江の間」は、臨春閣で最も格式の高い上段の間である



地袋の引き戸には細密な螺鈿細工の装飾が施されている



立涌文は曲木ではなく切り出したものだ

文化・歴史ロマンの夢

さらに第三屋に歩を進める。

ここでは「天楽の間」の欄間が異彩を放つ。実物の雅楽器である笙、箏、龍笛、高麗笛がそのまま飾られているのだ。

螺鈿楼閣人物図。また、見上げれば棹縁天井の「卍くずし」と呼ばれる風車のようなフオルムの美しさが注目に値する。ちなみに格式の高いこの部屋で、原の長男の結婚式が執り行われたという。

アトム視点



臨春閣の今回の保存・修理工事では、屋根の葺き替えと耐震補強がメインでしたが、その他にもさまざまな箇所の修理が行われました。写真の敷居もそのひとつ。経年での色の違いはありますが、木目が揃っており、パツと見ただけでは、わかりません。柱にも修理した跡がありますが、こちらは、大正時代に節抜けて穴が開いてしまったところに埋木をしたところだそうです。こちら木目が揃

っており、長い年月が経ち、木材の色も馴染んで、よく見ないと気づきません。今回、修理した敷居も色が変わって馴染んでいくのですね。また、耐震工事のため玄関床を掘削した際には、空襲で失われたとされていた、薄いスレート（粘板岩）による旧玄関棟の四半敷きの床が発見されました。大正から令和にかけて、大切に受け継がれている建物だからこそその発見です。





室内から望む庭園の景観。鯉が泳ぐ池には、時おりカワセミも飛来する



「浪華の間」から見える「亭樹(ていしゅ)」は、京都・高台寺の観月台がモデルという



火灯窓形の2階への階段口。火灯窓はもともと禅宗建築に用いられたが、形が優美なことから住宅や城郭にも取り入れられた

「村雨の間」の欄干にある雨傘の意匠



「天楽の間」の欄間には雅やかな雰囲気を醸す雅楽器が飾られている



その昔、風流人は興が乗ると、実際に手にとり音楽を奏でたのだろうか。そんな想像を掻きたてられる。

つづいて二階へは、これも珍しい火灯窓形に設えられた階段口をくぐる。窓からの三重塔の眺めが素晴らしい「村雨の間」には、百人一首の色紙が壁面に並ぶ。この部屋は藤原定家が「小倉百人一首」を編んだ時雨亭にちなみ、雨にまつわる意匠が施されているのが特徴だ。

そのひとつが縁側の欄干にある意匠。近くで見ると、雨傘を閉じた形を模している。こうした細部へのこだわりも「臨春閣」の魅力なのである。

その「臨春閣」を含め、園内は十七棟の歴史的建造物と四季折々の自然がみごとに調和し、雄大かつ壮麗な景観を創りだしている。美術品の収集家、茶人としても知られた原三溪。みずから土運びもしたという三溪園は、原にとって文化・歴史ロマンの夢への挑戦でもあった。

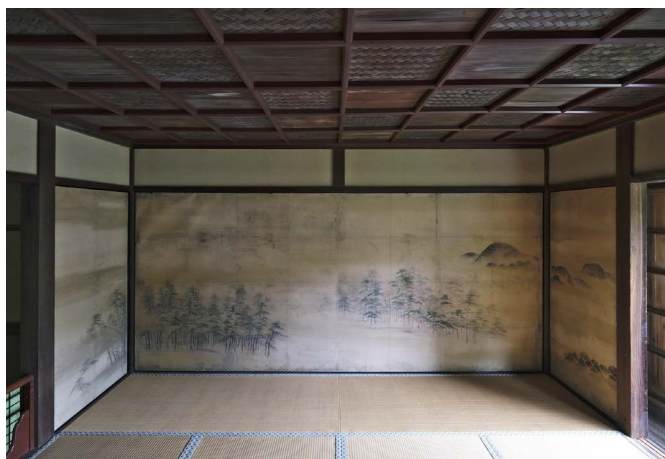
原がこの世を去ったのは昭和十四（一九三九）年八月。葬儀の場合は、自身がこよなく愛し、かつて長男の結婚式を催した「住之江の間」であった。

「葬儀は簡素に」という遺言にしたがい、園内の池から切りとられた大輪の蓮の花を数本供えたのみで、しめやかに営まれたという。

INFORMATION

三溪園

- 所在地：神奈川県横浜市中区本牧三之谷58-1
- TEL. 045-621-0634
- 開園時間：9:00～17:00（入園は16:30まで）
- 休園日：2022年12月26日（月）～12月31日（土）＊新年は1月1日から開園
- 入園料：大人（高校生以上）700円　こども（小学生・中学生）200円
- 交通：
 - ・JR横浜駅－市バス8・168系統 東口2番のりば 約40分「三溪園入口」下車
 - ・JR根岸駅－市バス58・101系統 1番のりば 約10分「本牧」下車
 - ・JR桜木町駅－市バス8系統 2番のりば 約28分「三溪園入口」下車
 - ・みなとみらい線 元町・中華街駅－市バス8・168系統 4番出口そば「山下町」バス停 約15分「三溪園入口」下車
- ＊詳しくは、下記ホームページをご覧ください
- ホームページ：<https://www.sankeien.or.jp>



2階の「次の間」。障壁画「村雨松林図」と市松模様の格天井が美しい

この世にずっと長く生き続けている素材には、きっと理由があるに違いありません。それをひもといてみましょう。

知っておきたい 物と素材のチカラ

ダンボール

ダンボールとは、ボール紙とボール紙の間に波型の中芯と呼ばれる紙を加え、強度を持たせたもの

ダンボールの始まり

私たちの生活のなかでダンボールは、宅配便の梱包など、毎日のようにお世話になっています。

では、この便利なダンボールの始まりはいつだったのでしょうか？

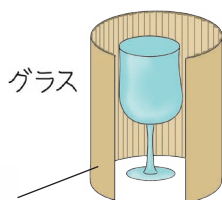
ダンボールは1856年、イギリスで誕生しました。

通気性を高め、またクッションの役目として、シルクハットの内側に波型のダンボールの中芯を入れたのが始まりと言われています。



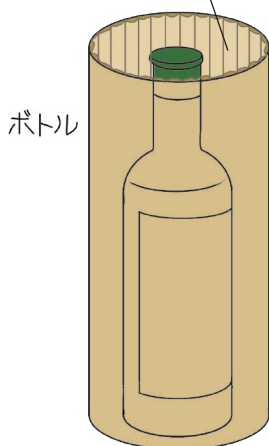
波型のダンボール

シルクハット



グラス

割れ物を包むための
ダンボールの梱包用紙



ボトル

また環境意識の高まりから、梱包には発泡スチロールからダンボールへのシフトが進んでいるようです。

*

*発泡スチロールとは、石油からできた気泡を含ませたポリスチレン

日本では1909年に井上貞治郎が、ボール紙に段をつけた「繰りっ放し」のダンボールの製造に成功したところから始まります。この紙の素材に対して井上が「段ボール」と名付けました。

ダンボールの最大の利点は、再生紙を利用できるエコな素材であることです。昭和初期には、日本では梱包は木の箱を用いることが一般的でした。しかしアメリカから輸入される電化製品や化粧品など、あらゆるものがダンボールで梱包されていることに影響を受け、日本も徐々に木の箱からダンボールの梱包にシフトしていったのです。ダンボールを使用することによりコストも下がり、箱の強度も木の箱と同等レベルの域に達しました。

ダンボールの需要は第一次、第二次世界大戦そして朝鮮戦争を経て一時的なピークに達しました。リーマン・ショック時には、需要が急減したものの、現在ではダンボールは生活の必需品となっています。

特殊なダンボールの始まり

アメリカのダンボールはベトナム戦争の時に活躍しました。地上に補給するため、空から落下させてもダンボールが衝撃を吸収して補給物資に支障が起きなかったとされています。

ちなみに、このような特殊なダンボールは強度が高く使い手は良いですが、決して安価なものではありません。

ダンボールは1段から3段までありますが、3段のダンボールは、その頑丈さから、機械系の梱包や貴重品の搬送などに使われています。

ダンボールの波面と厚さ

AAAフルート厚さ 15mm

AAフルート厚さ 10mm

ABフルート厚さ 8mm

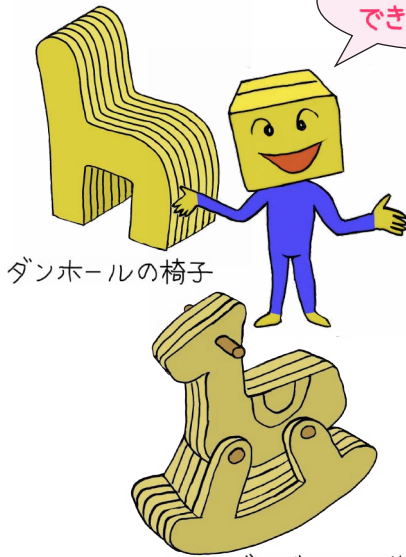
Aフルート厚さ 5mm

Bフルート厚さ 3mm

Eフルート厚さ 1.5mm

Gフルート厚さ 0.8mm

こんなもの
できるんだよ!

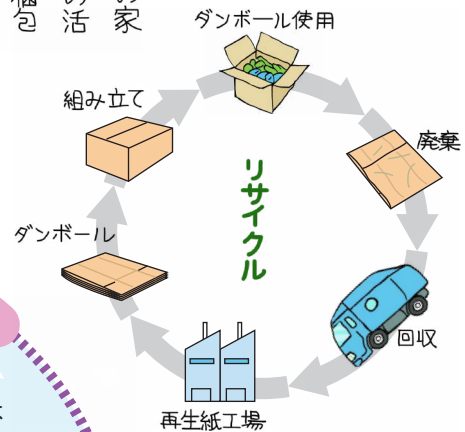


ダンボールの椅子

ダンボールの遊具

ダンボールで作ったおもちゃの家や椅子、テーブル、遊具など、その活躍の場所は多岐にわたります。梱包用ダンボールも、自転車を入れるほどの大きなものから小さな電球を入れる小型のものまで、サイズもさまざまですが、共通して言えることは、平面のコンパクトな状態から組み立てて商品を作成させるということです。

進化を続ける ダンボール



ダンボールは、SDGs(持続可能な開発目標)のお手本となる素材

本来、日本という国は、平安時代から高価な紙を回収して再生させる生活をしてきたといわれています。

その精神が、時代を超えて現代に受け継がれ、世界中の共感を得ていることは、うれしいことです。

世界建造物巡り

韓屋はひと昔前まで、藁葺き、瓦葺き、板葺き、木製の柱が壁より外になるというのが伝統建築として使われており、暑い夏は板敷きの床で涼をとり、また寒い冬にはオンドルという床下暖房も使うことができる建物です。部屋割りは儒教の影響から男性用の部屋と女性用の部屋に分かれていました。

韓国

韓屋
(ハノク)



オンドル

塩浦 信太郎

信太工房主宰／カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作、ほかにデパート各店での展示販売などを行っている



果報は寝て待て

奈良県高市郡高取町 壺阪寺 天竺渡来大涅槃石像



仏の教えはとても難解だし、
頭では理解したつもりでも、
守っていくのはなかなか難しい
人間だから、ふっと魔がさして
よからぬことを考えてしまう。
そんな時は、ちょっと横になってみよう
いろいろな思いが湧いてくるが、
それは空を流れる雲みたいなもの
やり過ぎしているうちに、
一瞬、悟りの境地が見える時もある
横になった時だけでも
煩惱を捨てられれば
まあまあ上等な人生じゃないか

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、
石の神さま・仏さま。時によっては、立派なお堂の中に祀られた
国宝の仏像よりも力強く、何かを語りかけてくれます。

天竺渡来大涅槃石像 [奈良県高市郡高取町 壺阪寺]

壺阪寺は正式名を南法華寺といい、8世紀に創建されました。眼病
平癒にご利益があるとされ、歌舞伎や浄瑠璃の演目『壺坂霊験記』で
でも有名です。山の斜面に沿って広がる境内にはインドで制作されて
日本に運ばれてきた巨大な石仏も数々あり、中でもこの涅槃仏と背
後にある巨大な観音立像が圧巻です。涅槃仏は全長8m。観音立像
は像高20m。

● 近鉄線壺阪山駅下車、バスまたはタクシーで10分ほど



文・写真 吉田さらさ

寺と神社の旅研究家。日本各地に取材し、石の神
様、仏様の像の写真を撮って「お言葉」を考えるの
がライフワーク。『明日がちょっと幸せになる お
地藏さまのことば』(ディスカヴァー・トゥエンティ
ワン)、『石仏・石の神を旅する』、『長崎の教会』
(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数



1840年の誕生以来、世界中で発行されている切手。

その単片には各国の文化や自然、知と美の世界があふれています。

切手という小さな窓を開いて、一緒に世界を旅してみませんか？



2016年
オランダ発行

切手でつなぐ子どもたちのチカラ

昔から、募金を集めるために切手を発行するという方法があります。

日本では寄付金付き年賀切手がおなじみですが、ヨーロッパでは戦前から児童福祉切手が発行され、子どもの福祉や教育に使われています。

中でもユニークな活動をしているのがオランダです。毎年9月末になると子どもたちが近所の家をまわって児童福祉切手を販売し、寄付金を集めているのです。10万人以上の子どもが参加し、10億円以上も寄付を集め、国内外の困窮した子どもたちをサポートしています。

この活動の強い味方は、愛らしい切手です。毎年、オランダ郵政はデザインを工夫したミニシート型の児童福祉切手を発行し、寄付活動を支えています。2016年はオランダを代表するイラストレーター、フィップ・ヴェステンドルプ生誕100周年記念のデザインでした。彼女の描く有名なキャラクターが満載で、思わず買ってみたいくなる一枚ですね。



文 馬場 千枝 | フリーランスライター。切手愛好家。

Facebook上で「なでしこ切手倶楽部」を主宰。「かわいい、楽しい、美しい切手やおたよりで癒やされたい、あそびたい人たちの集う場」を提供している。

著書『切手女子のかわいい収集BOOK』（PHP研究所）他 https://www.instagram.com/nadeshiko_kitte/

人 人 の 風 景

vol.8

— Scene of distance —

私達が紡いだ風景。
ひろい集めた
静かな時間の片鱗。

写真・文 吉田周平



ヨーソーロー



太陽のせい



-10℃から Good luck



2022全国建具フェア浅草・TOKYO 「第54回全国建具展示会」 に出展しました



去る11月11日(金)・11月12日(土)の2日間、都立産業貿易センター台東館にて開催された「2022全国建具フェア浅草・TOKYO 第54回全国建具展示会」に出展しました。展示内容はおもに、「SWシステム 移動間仕切金具」を使用した、「回転収納プラン・フリーオープン梁下納まり」や、「マルチソフトクローズユニット」を使用した「ダブルオープン納まり」など。実物大やミニチュアの展示什器を設置して、実際の利用法や操作法をご紹介しました。

会期中は、当社ブースにお立ち寄りいただき、誠にありがとうございました。



※追記 2023.09.01

こちらの商品につきましては、三井不動産レジデンシャル(株)様・ニホンフラッシュ(株)様で意匠登録された納まりとなっております。

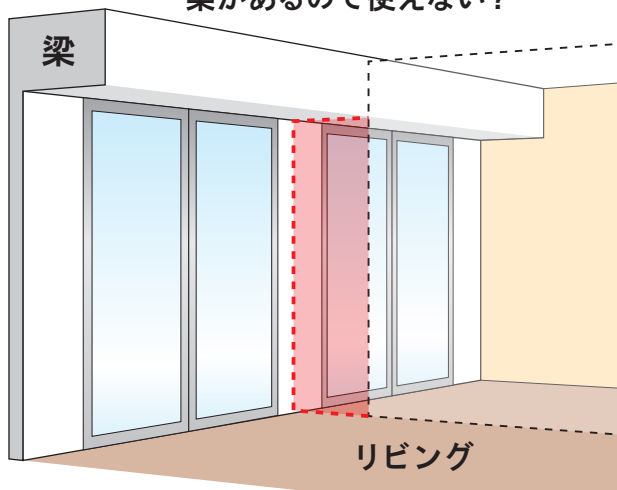
梁下のデッドスペースを活かす 移動間仕切りシステム



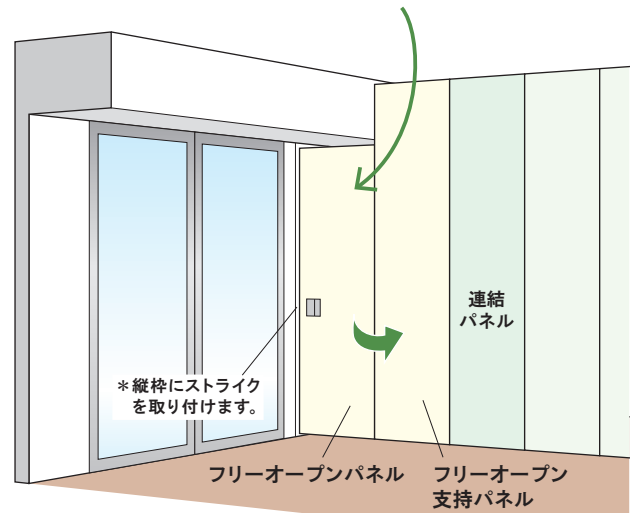
SWシステムは、リビングを仕切って部屋を分けることができる移動間仕切りです。たとえばマンションでバルコニー側の天井に梁が突き出してデッドスペースになってしまう場合でも、フリーオープンパネルを使用すれば梁下が開き戸になり、部屋を仕切った際の出入り口にすることができるなど、市場ニーズに対応したシステム構成になっています。

SW-900 回転収納プラン・フリーオープン梁下納まり

リビングを移動間仕切りで仕切りたいが
梁があるので使えない？

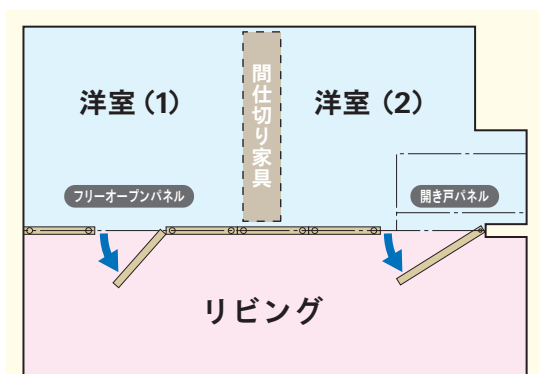
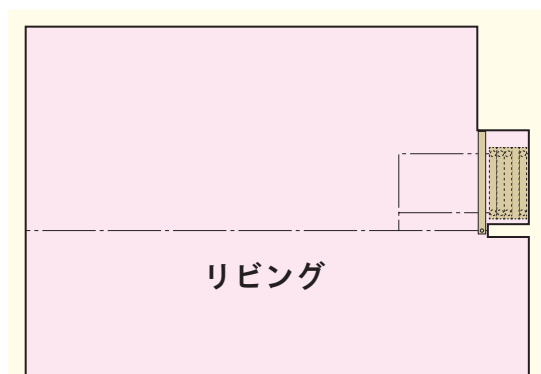


梁下が開き戸に！



ふだんは家族でリビングを広く使い、テレワーク時にはパネルで仕切ってワークスペースに変更。また、間仕切りした部屋は子どもの成長に応じて、子ども部屋や寝室に使うなど利用法もさまざま。そして、必要がなくなればパネルを収納し、もとの広いリビングに戻すなど、生活様式の変化に合わせて間取りを自由に変えることができます。

出入り口を2カ所に設定し、家具等を間仕切りとして配置することで
2部屋に分けるプランも可能です。





正統派オトナ文具シリーズ 経年変化を楽しむ

アトムCSタワー 1階のギャラリーショップ KANAGUにて、真鍮を用いた文具が新発売です。上品な光沢と重厚感あふれるその佇まい、そして使い込むごとに質感が変化していく様子が魅力の真鍮文具をお楽しみください。耐久性に優れ、流行にも左右されないため、長くお使いいただけます。

Kaweco
BRASS Sport 0.7mm
Φ13×H108mm
¥11,000 [税込]

真

鍮無垢のボディ、そしてど
つしりとしたシルエットが

特徴的な「Kaweco プラススポ
ツ0.7ミリ」。真鍮ならではの重
みで、力強い書き味を楽しむこと
ができます。1883年にドイツ
で創業されたブランド・Kaweco
の復刻版となる本商品。ブランド
ロゴが入ったペンケースも付属し
ており、贈り物にもぴったりです。
当店では、Kawecoのボールペン
やシャープペンシルだけでなく、
真鍮製の鉛筆ホルダー、ペンケー
ス、定規類も取り扱っています。
仕事のパートナーとしても、プラ
イベントを共に過ごす相棒として
もおすすです。

真鍮文具とともに歩む時間

真鍮は使い込むごとに、徐々に
深みのある輝きへと変化してい
きます。その輝きは、持ち主にしか
作り出すことのできないオリジナ
ルな存在です。そんな経年変化に
任せるのも、ふとしたときに磨き
なおして華やかな表情を楽しむの
もあなた次第。真鍮文具を手を取
った瞬間から、自分だけの特別な
時間が流れ出します。

ギャラリーショップ KANAGU
では、経年変化の進んだ商品も展
示しています。ぜひ、店頭で手に
取ってご覧ください。

ノギス
98×35×2mm
¥1,100 [税込]

三角定規
120×72×1.5mm
¥1,100 [税込]

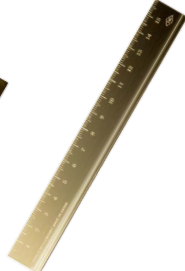
分度器
100×57×1.5mm
¥1,100 [税込]

プラス
定規 無垢
H20×W160mm
¥1,320 [税込]

プラス
ペンケース 無垢
H50×W170×D18mm
¥4,180 [税込]

プラス
ローラーボールペン
Φ11×H102mm
¥5,500 [税込]

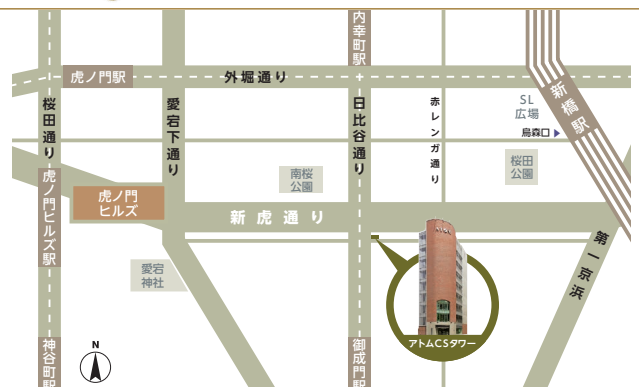
プラス
ボールペン 真鍮無垢
Φ11×H99mm
¥2,420 [税込]



アトムCSタワー

PH	ガーデンギャラリー
8F	ホワイトギャラリー IRフロア
7F	ギャラリーショップ KANAGU 中村工芸フロア
6F	OFFICE
5F	
4F	亜吐夢金物館
3F	
2F	
1F	ギャラリーショップ KANAGU
BF	サロンギャラリー

東京都港区新橋4-31-5 TEL.03(3437)7750
営業日・営業時間はHPをご覧ください



JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩8分
都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩8分

読者の声

今回、建具用木口かくし調整丁番のことが載っていましたが、このように意外性のある建具金物とその使い方等について、一つのコーナーとして紹介していただけたら有り難いです。

〈山形県 I・H様〉

本郷～根津～千駄木と文京区内で生まれ育ち、宮仕えの最後に静岡市に転勤になったので、谷根千の話題が続いて懐かしかった。静岡も歴史ある街だが、東京には昔からの文化と、全国から移り住んできた人々が持ち込んだものが入り交じったいろんなバリエーションがあり、町並みや建物などに表れるのだと思う。

〈静岡県 R・M様〉

「古今東西たてものがたり 特別編」の中山道・浦和宿たてもの散歩は、埼玉県民の私にとっても初めて知る内容が満載でした。特に黒川紀章設計の県立近代美術館はまた訪れたいです。

〈埼玉県 N・T様〉

浦和宿は宿場町であり、多くの古い建物が残っている。現代の建築方法と違い、重厚感がたどよう。このような素晴らしい建物が後世までのこるようなまちづくりを行ってほしいと感じた。

〈埼玉県 O・H様〉

「オフタイムの過ごし方」は書いている人の人間味が垣間見えて、一番好きなコーナーです。今回は「石の神さま仏さま」の「頑張る人には福が来る」という題字の文言に元気をもらいました。

〈沖縄県 ますお様〉

毎号たのしみにしています。根津のみぞ屋さんのお話よかったです。次号も、食物のお話がちょっとあるとうれしいですね。「人人の風景」も good!

〈岩手県 A・E様〉

編集後記

皆さんは手帳を使われていますか? 「手帳」と一言でいっても、紙にするかデジタルにするか、紙ならどのサイズやレイアウトがいいか、デジタルならどのサービスを使うか、と悩みだすとキリがありません。私はここ数年同じ紙の手帳を使っているのですが、SNSに投稿されている手帳を見ると、新しいタイプに挑戦するのかもしれないと思ってしまう。さらに最近は筆記用具にも悩んでいます。ボールペンにするか消せるボールペンにするか、万年筆に挑戦するのかもしれないと思いつつ、色々見比べて楽しんでいます。〈コナ〉

INFORMATION

『ATOMNEWS』の 発行回数が変わります

本号(216号)を含め、年2回ほどの発行を予定しております。今後より一層、ホームページやSNSなどの充実を図り、読者の皆さまに情報をお届けしてまいりますので、今後とも『ATOMNEWS』をよろしくお願いいたします。



卸売事業部 田中 康平

アトム商品取扱代理店への
卸営業を担当

「休みの日に遅くまで寝ているのもつたいない」という方はいらっしゃるのではないのでしょうか。私もそのうちの一人で、学生時代は遅くまで寝ていたのですが、社会人になってからは、時間をもつたいないと感じるようになり、休みの日は平日より早く起きて「朝活」をするようになりました。私の朝活は「運動」「音楽」「サ活(サウナ活動)」の3つが中心です。

最近のサウナブームで、サウナに力を入れている施設が増えている中、私もサウナにはまりつつあります。最初は、水風呂が苦手だったので、敬遠していたのですが、入り方のコツを掴み、少しずつ良さを知ることになりました。しかし、サウナブームの影響で、日中はサウナに行列ができるほど人混みが凄くなってしまうので、私は早朝に楽しむようにしています。

今回挙げた以外にも様々な趣味を満喫していますが、せっかくの休みの時間をこれから有意義に使うため、「朝活」をしていこうと思います。



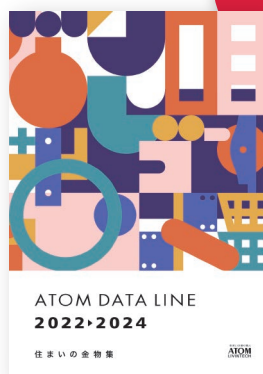
お気に入りのデッキテラスで愛車と一緒にのんびりと

個人情報の取り扱いについて

読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、プレゼント発送のほか、商品情報や弊社個展の招待状等の発送に利用させていただく場合がございます。これらの発送停止をご希望される場合には、速やかに対応いたします。詳しくは弊社HPのプライバシーポリシーをご覧ください。

人に寄り添い 住まいを飾る

new!



www.atomlt.com/catalog/



住まいの飾り職人



アトムリビンテック株式会社

■本社／〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)

特 販 事 業 部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833

卸 売 事 業 部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435

■アトムCSタワー／〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5

アーバンスタイル事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565

亜 吐 夢 金 物 館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所／〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5
TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282

■札幌営業所／〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F
TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015

■前橋営業所／〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7
TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661

■広島営業所・C/Dセンター／〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8-6
TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880



www.atomlt.com